

授業科目 対人コミュニケーション論（介護福祉コース用）

【担当教員名】 五十嵐 紀子	対象学年	1	対象学科	社会（介護福祉コース必修）
	開講時期	後期	必修選択	選択
	単位数	1	時間数	15

【ディプロマポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	○	○

【一般目標：GI0】
対人コミュニケーションの理論を学ぶことで、他者との関わりにおける人間の社会的行為について理解を深める。日常的な場面を理論に照らし合わせながら、自己理解、他者理解についての学びを深めることで、実社会におけるコミュニケーションの基礎力をつけ、より良い人間関係の形成のための素地を作ることがを目的とする。また、将来就くであろう介護福祉士として働く現場での様々な状況において、学習した内容を応用しようとする意識づけを行う。

【行動目標：SBO】

1. 対人コミュニケーションの理論を理解する
2. 身近なことや社会現象などに学んだ理論を当てはめ考察できる
3. コミュニケーションの基礎力をつけ、実践しようとする
4. より良い人間関係の形成のための素養を高める

回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	オリエンテーション	1, 2, 3, 4	「コミュニケーション学概論」の復習
2	言語・非言語コミュニケーション	1, 2, 3, 4	講義、アクティビティ、ディスカッション
3	言語・非言語コミュニケーション	1, 2, 3, 4	講義、アクティビティ、ディスカッション
4	自己理解と他者理解	1, 2, 3, 4	講義とディスカッション
5	「説得」の理論と納得を得る方法	1, 2, 3, 4	講義、ビデオ視聴、ディスカッション
6	利用者の理解と支援	1, 2, 3, 4	ビデオ視聴とディスカッション
7	利用者の理解と支援	1, 2, 3, 4	講義、ディスカッション
8	まとめ	1, 2, 3, 4	

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)				
参考書	授業中適宜紹介する			
その他の資料	ハンドアウト 授業のパワーポイント	授業にて配布 授業終了後にポータルサイトから各自ダウンロード		

【評価方法】 毎回の授業でのコメントシート 15%、レポート試験 70%、グループディスカッション、ロールプレイ、発言など授業への参加 15%	【履修上の留意点】 講義形式ではあるが、意見や感想、質問などを求める。 積極的に授業に関わる姿勢を高く評価する。
--	--